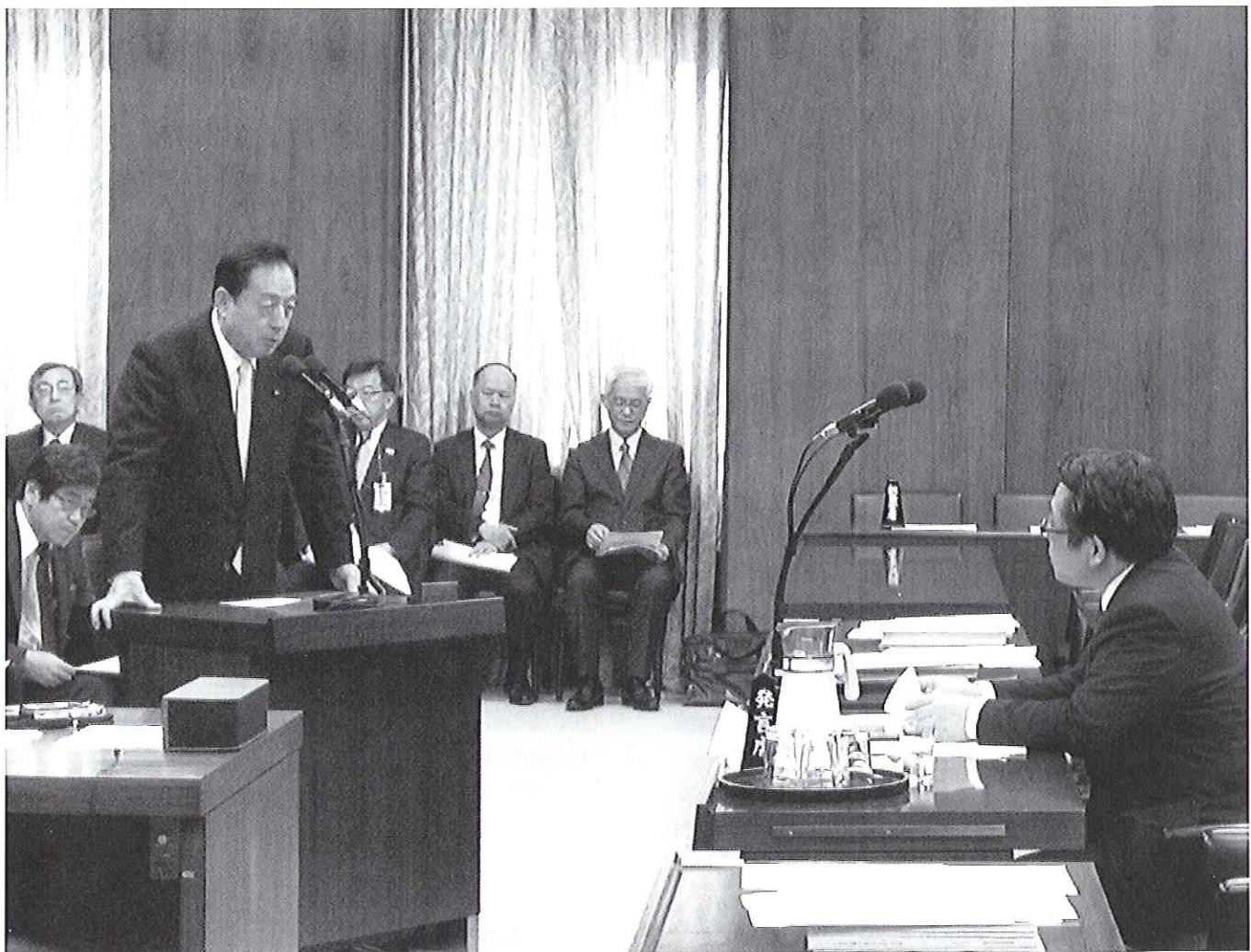


# 大口よしのり通信(号外)

大口よしのりホームページ ▶ <http://www.oguchi.gr.jp/>

## 衆議院予算委員会 第8分科会で質問 富士山静岡空港を防災拠点に!



▲富士山静岡空港の防災拠点化等について質問する大口議員(右)と答弁する太田国交大臣 = 2月26日 衆議院

2月26日に行われた予算委員会第8分科会(国土交通省所管)で大口よしのり議員は、羽田、成田両空港の航空需要が増える中、富士山静岡空港を「首都圏空港の補完的役割、さらには富士山の噴火による降灰への対応も含め、大規模災害の防災拠点として活用すべきだ」と訴えました。これに対し、太田昭宏国土交通大臣は意義ある提案だと評価し、同空港が、「南海トラフ地震や富士山噴火、首都直下地震で防災拠点として果たす役割は大きい」との考えを示しました。

また、清水港新興津地区の港湾環境整備事業におけ

る小型船溜り整備事業と人工海浜・緑地整備事業の推進を訴えました。

そのほか大口議員は、伊豆地方の観光振興などに向け、伊豆縦貫自動車道の早期整備、特に東駿河湾環状道路の沼津岡宮インターチェンジ以西区間の早期事業化を訴えるとともに、世界文化遺産に登録された富士山の構成資産の一つである三保松原の保全への国の技術的支援ならびに経済的支援を求めました。

この日の質問は、2月27日付の静岡新聞の3面でも紹介されました。(※質疑の抜粋は2面参照)

## 衆議院予算委員会第8分科会質疑(抜粋)

### 沼津岡宮ICから西側の沼津市原一本松までの都市計画道路の事業化について

【大口議員】 東駿河湾環状道路沼津岡宮ICから東側が開通し、沼津岡宮ICから西側の沼津市原一本松までの区間7.9kmは都市計画道路として決定されているが未だ事業化されていない。この路線は沼津・三島区間の国道1号の慢性的な渋滞を緩和する道路として、また、地震時における脆弱な現道の迂回バイパスとして、地元待望の道路である。この区間の事業化

の見通しについて伺う。

【太田国土交通大臣】 当該区間は、国道1号の渋滞緩和、沿道環境の改善に大きな役割を果たし、今後想定される南海トラフ地震時においても、避難、救援、物資の輸送に極めて重要な道路であると認識している。現在実施中の猛禽類の生息調査などの進捗状況を踏まえて引き続き検討したい。

### 国道1号静清バイパス清水立体の早期整備について

【大口議員】 国道1号静清バイパス清水立体は、静岡市清水区横砂東町から同区八坂西町の高架化事業で、特に渋滞が激しく、唯一平面区間として残されることになった箇所である。ここを立体化することにより、慢性的な交通渋滞の解消のみならず、清水港と高速道路が直結されることにより、事前防災の促進、発災後の救援、復興活動の

迅速化、さらに静岡県中部地域の経済発展に大きく寄与することが期待される。この清水立体を早期に整備すべきだ。

【太田国土交通大臣】 平成20年1月に立体化の都市計画変更がなされ、これまで7割の用地買収が完了した。引き続き地域の皆様のご協力を得ながら早期供用できるように努力をしたい。

### 富士山静岡空港について

【大口議員】 昨年9月26日に行われた交通政策審議会航空分科会基本政策部会において、「今後の首都圏空港容量拡大の検討にあたっては、羽田・成田だけでなく、静岡、横田、茨城(空港)等の活用も検討すべき」との意見があった。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックも行われるなど、首都圏を中心とした大規模イベント時の輸送計画における富士山静岡空港の位置付けについて伺う。

また、静岡空港を首都圏空港のリダンダンシーとして、富士山の噴火による降灰への対応を含め、防災拠点とし

ての活用を視野に検討すべきと考えるがどうか。

【太田国土交通大臣】 首都圏空港の機能強化は極めて大事な上に、東京オリンピック・パラリンピックが2020年ということを考えると、かなり力を入れて強化を図らなくてはならない。静岡空港の位置付けはきわめて有意義である。また防災という観点からは、富士山の噴火の場合、どちらかというと東側に灰が降るし、南海トラフの地震、首都直下の地震でも、静岡空港が防災拠点として果たす役割は極めて大きい。その観点からも利用について十分検討していきたい。

### 三保松原の消波ブロックへの対応

【大口議員】 三保松原は、日本三大松原の一つで、美しい砂浜と背後の松林、靈峰富士を仰ぐ日本有数の景勝地である。昨年6月に世界文化遺産に富士山が登録され、その構成資産として認定された。しかし、世界文化遺産の登録過程において、砂浜の保全に大きな役割を果たしてきた消波ブロックの存在が、審美的観点において望ましくないという指摘を受け、県としても、三保松原の海岸における「世界文化遺産としての資産価値の保護と安全安心が両立する新しい姿」を模索している。

これまで、国土交通省からは、海岸工学や土砂管理の見地から様々な助言や、技術会議への委員派遣

などをいただいている、今後とも同様の支援を続けてもらいたい。また、短期対策にかかる概算事業費として約30億円くらいかかるので、必要な予算を確保いただきたい。

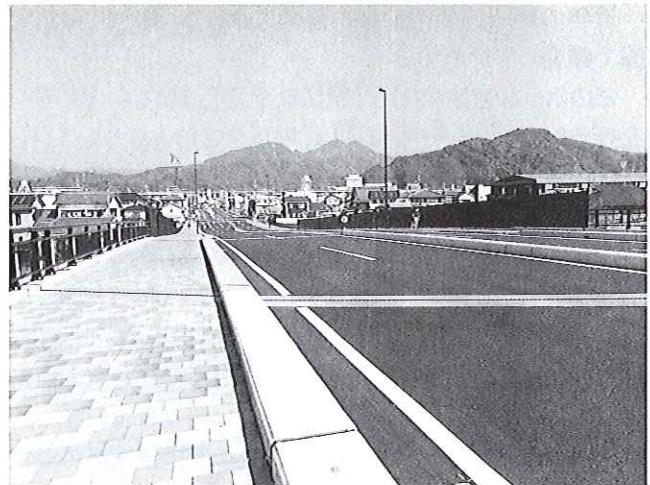
【太田国土交通大臣】 昨年7月に大口議員と一緒に現地に行かせていただき、あらためて美しい海岸を本当に美しい状況で残すべきという思いを深くした。表に出ない突堤の工法の研究が行われているが、さらに技術的見地を確立する、予算をしっかりと確保し、三保松原は間違いなくいい景色で残ったと、一層観光客が訪れていただくような努力をしたい。

## 待望の都市計画道路・中吉田瀬名線が開通！

都市計画道路・中吉田瀬名線が、昨年12月21日に供用開始されました。

大口議員は平成7年10月の衆議院建設委員会で、平山草薙停車場線の渋滞解消の方策として、当時街路事業ですすめていた中吉田瀬名線の整備を道路事業と一体化させ早期の全面開通を図るよう強く訴えました。これに対し、建設省（当時）の道路局長は、「中吉田瀬名線を国道一号まで延伸させることは有効であり、静岡県とも調整していきたい」と答弁し、この事業を大きく前進させることができました。

また、瀬名川2丁目の通学路と交差する交差点の信号機と横断歩道の問題についても、地元からの声に対して県議・市議らと連携し、ご要望に応える形で設置することができました。



昨年12月21日に供用開始された中吉田瀬名線  
＝ 中吉田瀬名大橋から北を望む 静岡市

## ストーカー規制法等改正検討 —「情報保護」で通達

公明党のストーカー規制法等改正検討プロジェクトチーム（座長：大口よしのり衆議院議員）は2月13日、警察庁と総務省からストーカー対策の進捗状況について確認しました。

女子高生が交際相手に刺殺された三鷹事件を受けて発足した警察庁の「事態対処チーム」は、約80人の態勢で警察署からの報告を24時間受け付け、事件や相談の対応に当たっていると報告しました。

また総務省は、ストーカーやDVなどの被害者保護を厳格にするため、住民基本台帳の情報について外部から電話で照会があった場合には回答を控えるよう、1月23日付で各都道府県の担当部長に通達したと報告しました。



ストーカー対策の進捗状況について確認する大口議員ら  
＝ 2月13日 国会内

## 閣議等の議事録の作成・公開が決定！

公明党特定秘密保護法案に関する検討プロジェクトチーム（座長＝大口よしのり衆議院議員。現在は特定秘密保護法のフォローアップに関するPTに改組）が、昨年の特定秘密保護法制定の過程で強く求めていた閣議等の議事録の作成と公開がこのほど実現しました。

公明党は政府に、歴史的事実の記録である公文書を適正に管理し、現在及び将来の国民に説明責任を果たすため、閣議及び閣僚懇談会の議事録の作成と国立公文書館への移管、さらに一般利用に供するための公文書管理法改正を求めてきました。

閣議の議事録については内閣制度が発足した明治以来作成されていませんでしたが、平成26年4

月1日の閣議、閣僚懇談会から憲政史上はじめて議事録を作成、公表することとなりました。さらに閣議や閣僚懇談会以外の閣僚会議等についても、必要な措置を検討していくとの安倍総理からの前向きの答弁がありました。

さらに3月6日の特定秘密保護法のフォローアップに関するPTの会議で、イギリスの閣議は毎週火曜日通常1時間半、ドイツは毎週水曜日平均1時間半開催と充実した議論をしていること比べ、我が国の閣議は国会開会中10分程度であることを指摘し、政府は閣議の在り方について今後不断の検討をすべきことを確認しました。

## 「XRAIN浜松レーダ」が決定 — H25年度補正予算で

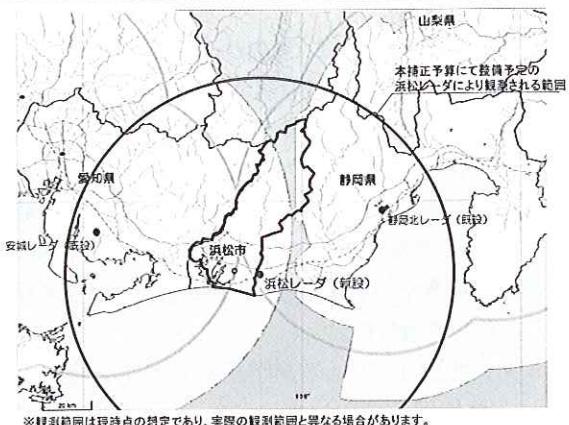
近年の局所的豪雨や集中豪雨によって、浸水被害が全国で頻発しています。

このような水害に対し、適切な水防活動や河川管理等を行うため、国土交通省では、平成22年より「XバンドMPレーダ」(通称:「XRAIN」)を設置し、危険度予測の高精度化を図ってきました。

ところが浜松市は、中部地域レーダと静岡地域レーダの谷間にあり、市の一部しかカバーしていないという現状があり、大口議員は昨年8月9日、浜松市の鈴木康友市長とともに国土交通省に出向き、太田国土交通大臣に要望して大臣から早期設置の約束をいただきました。

このほどその要望が実り、平成25年度補正予算で浜松レーダの整備が採択されたものです。来年の夏以降からの運用開始を予定しています。

浜松地域におけるXRAINの観測範囲



「浜松地域におけるXRAINの観測範囲」の図は国交省提供

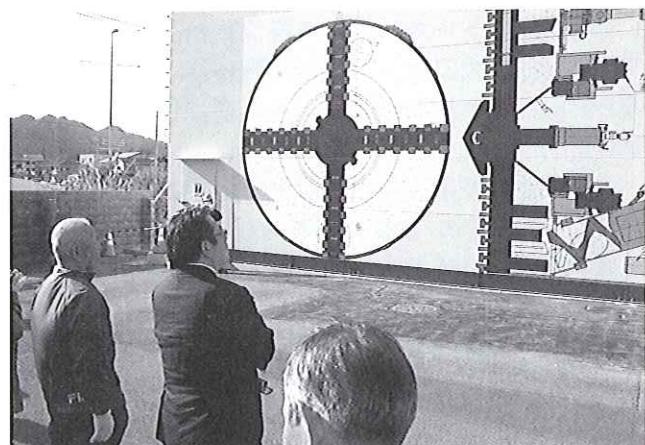
## 雨水貯留管のシールドマシンを視察 — 静岡市駿河区

大口議員は2月23日、静岡市駿河区の長田浄化センター内で、雨水貯留管の掘削機の発進現場を視察しました。

この事業は国道150号の地下に、長さ1100mの雨水貯留管を整備し、洪水時に1万3200立方メートルの雨水を貯めるもので、平成27年度の稼働を目指しています。

静岡市駿河区下川原地区は平成15年、16年と2年続けて甚大な浸水被害が発生しました。

静岡市は平成18年2月に静岡市浸水対策推進プランを作成。大口議員は平成18年、19年の衆議院予算委員会で、国としての総合的な治水対策、下水道による都市浸水対策の積極的推進の必要性を訴え、静岡市の総合治水対策を国が積極的に支援するとの答弁を引き出し、この事業が実現の運びとなりました。



シールドマシンの発進現場を視察する大口議員  
= 2月23日 静岡市駿河区

## 人工海浜公園建設予定地を視察 — 静岡市清水区

大口議員は2月22日、興津地区の皆様の長年の悲願である清水港新興津地区・環境整備事業箇所を視察しました。

本事業は、小型船溜りの移転集約をし、港内の船舶の運航の安全性・利便性の向上を図るとともに、交流環境拠点整備、水産業6次産業化の基盤整備ならびに、人工海浜・緑地公園を整備するもので、大口議員が2月26日の衆議院予算委員会第8分科会でも取り上げ、1日も早い整備を訴えました。



第8分科会の質問に先立ち新興津地区を視察する大口議員  
= 2月22日 静岡市清水区

## 発行:大口よしのり後援会

### ■国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館308号 TEL03-3508-7017

### ■静岡事務所

静岡県静岡市葵区伝馬町23-6 TEL054-273-8739

大口よしのり  
WEBサイト



Facebook

